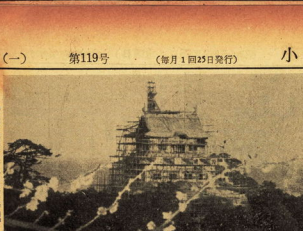
小田原市報
第119号
発行所
小田原市役所
小田原市第1の138
編集兼発行人
浦　貴　悦
定価一部三円
交通整理印刷所

人口 121.797人
男 59.779人
女 62.018人
世帯 24.903
2月1日現在


【写真は完成全景・小田原城天守閣】

上水道第二期拡張工事に着手

送・配水管を兼用

完成後の給水人口は十三万人

上水道第二期拡張工事の起工式区内で開催し、給水を開始する方メートルを目標として、本年度から、さる二月九日、関三市議会議員、関係者の参加で、本市の市役所前広場で、厚木市の関係者が、小田原市の関係者が、小田原市の関係者が、厚木市の関係者が、小田原市の関係者が、厚木市の関係者が、小田原市の関係者が、厚木

ふえる粗暴・性犯行為 ―考えよう青少年問題―

昨年の非行統計から

最近いろいろの原因により、悪の道に落ちてゆく青少年が急激に増加しております。

青少年の時期は、人生の春ともいわれておりますし、また危険期とも考えられております。それだけに前途への希望、期待に胸をふくらませていると共に、いろいろの矛盾やくいちがいの中に身をさらしているのです。

大人たちからみると随分単純な原因だと思われることも、青少年たちにとつては真剣な問題なのです。

ちよつとした家庭のいざこざや親の不公平な扱い方、学校、職場におけるささいな不満などが不良化の原因ともなります。

このような青少年に健全な方向を示してやることこそ、大人に課せられた責務であります。

そこで小田原署管内における最近の「青少年の問題」、特に非行の実態がどんなふうであるかを昨年の統計から見てみましょう。そしてその背景に横たわっているものを見出し、そこから社会と家庭と学校とわれわれが何をすればよいかを考えてみることが大切です。

①昨年中の保護観察対象者数は、一〇一名で、例年の八〇～八五名程度に比べ高い数字を示しております。

②犯罪をおかすおそれのある行為は前年とほぼ同数の九四二件です。

これを件数の多い順に拾つてみますと…喫煙三八七、怠学九六、飲酒八〇、不良交遊五二、深夜外出四八、家出浮浪四五、不純異性交遊三五、怠業二六、けんか一七、不健全娯楽一五、その他一四一となつております。

③少年刑法にふれる犯罪数は、四五四件で前年の五〇〇件に比べやや減少しております。

犯罪別では、窃盗が一番多く二〇三件、傷害三五、暴行二七、強姦一三、詐欺一〇、強盗九、わいせつ行為四、横領三、その他一五〇件となつております。

このうち全国的に増加している粗暴犯、性犯行為が八〇件で、前年より三〇％も増えていることや家出浮浪が予想外に多いのが目立つております。

また、これら犯罪の原因別をみますと、利欲一八一、えん恨憤怒五八、その他二一五となつております。

なお、業務上過失傷害罪等を除いた犯罪は三六二件で、これを年齢的に分けますと…十四歳未満七三、十四歳三二、十五歳三二、十六歳五〇、十七歳五五、十八歳五四、十九歳六六件となつております。

以上は、小田原署が取り扱つたごく限られたものに過ぎません。

しかし現実にはもつと青少年の非行がなされているものと思われます。

市内各地区では、学校の先生や保護司や民生委員の方々をはじめ、各社会教育団体等がこれら青少年の非行防止につとめておりますが、各家庭におかれましても健全な青少年の育成に一段と関心をもたれるようお願いします。

天守閣上棟式行なわる

◆◆◆◆◆ ◆ ◆◆◆◆◆

鯱（しやち）上式もあわせて

本年五月の完成をめざして工事が急がれている小田原城天守閣の上棟式並びに鯱上式は、二月二十五日午後二時から天守閣の二階に約三百名の来賓、関係者の出席を得て盛大に行なわれました。

式はまず上棟式からはじまり祝詞奏上、四方祓、槌打の儀、四方固めなどとどこおりなく祭事がおごそかに行なわれた後午後三時花火を合図に鯱の除幕が行なわれ、展望台から五つの風船につけられた『祝小田原城天守閣上棟式、鯱上式』の奉祝幕が舞い上るうちに会場では、鈴木市長、松井建設社長のあいさつ、来賓の祝辞等があつて式を終りました。

天守閣大棟にくつきりと姿をあらわしたこの鯱は、横浜市保土ケ谷区天王町の鋳造家慶寺丹長氏によりつくられた青銅製のおす、めすです。なお、鯱の取付作業は二月十九日に行なわれましたが、市ではこれにさきだち、この鯱をさる十二日から開かれた梅まつり菓子展会場の中央公民館に展示して市民に見ていただき非常に好評を博しました。（写真上は中央公民館で公開された鯱）

冠婚葬祭の簡素化で受賞

酒匂婦人会の努力みのる

社教法施行10周年大会

県教育委員会主催による社会教育法施行十周年記念大会は、二月二十二日県立音楽堂において開催されましたが、この大会では、新生活運動ですぐれた事績をあげた五団体が、昭和三十四年度新生活運動のモデル団体として、また社会教育振興に永らく尽力された五十六名の方々が功労者として表彰されました。

本市からは、モデル団体として冠婚葬祭の簡素化につとめた酒匂婦人会、公民館を中心にして環境衛生の改善と読書活動に尽力した第三十三区公民館が、また社会教育功労者としては次の四氏がそれぞれ表彰されました。

尾崎正（幸）、須藤馨寿（緑）、安間喜代（緑）、穂坂正人（下曽我）

輝く準優勝

郡市対抗駅伝

第十四回郡市対抗駅伝は十七チームが参加し、さる二月十四日午前九時三〇分、川崎市役所前を一斉にスタート、湯河原観光協会前ゴールまでの八区間八十六キロのコースで熱戦が展開されました。

わが小田原チームは、若手選手ばかりで、強豪横浜チームをおさえ、優勝した川崎チームに迫る奮闘ぶりを見せ、自己最高記録の4時間47分52秒で準優勝を遂げました。

なお、今回自己最高記録（従前4時間53分）をつくつた本市チームには努力賞が授与され、区間最高タイムで走つた本市の四人の選手にはそれぞれ楯が贈られました。

総合順位（六位まで）及び本市選手の区間最高タイムは次のとおりです。

◇総合順位

①川崎市　4時間44分59秒
②小田原市　4時間47分52秒
③横浜市　4時間50分15秒
④平塚市　4時間56分
⑤足柄上郡　4時間57分55秒
⑥中郡　4時間58分51秒

◇区間最高タイム

第二区＝井上英一　42分13秒
第五区＝池田勇　27分52秒
第六区＝渡辺順　35分24秒
第八区＝椎野友信　22分24秒

消防活動を妨げぬよう

火災現場の自動車・オートバイ

乾燥期を迎え、各地に火災がひんぴんと発生しております。一度火事が発生すると親戚、知人宅等への見舞いその他で多数の人が集まり非常に混雑するのが例です。

特に最近では、自動車、オートバイなどで駆けつける者が多くなつてまいりました。そのため消防車の進行さえも容易にできず、一刻を争う消防活動に大きな支障をきたしている現状です。

このような状態ですと、火災が拡大したときに思わぬ事態が発生する恐れもありますので、この点よくご理解下され、消防活動が円滑にできるようみなさんのご協力をお願いします。

火の元検査

3月8日～13日

春の火災予防運動

例年のとおり春の火災予防運動が実施されますが、二月二十九日から三月六日までは車両火災の予防運動が、三月七日から十三日までは一般の火災予防について各種の運動が行なわれます。

消防署では、この運動の一環として次の日程により火の元検査を実施いたしますので、各家庭のご協力をお願いいたします。

火の元検査の日程

▼三月八日（火）緑、十字、谷津、池上、荻窪、及び曽我地区
▼三月九日（水）新玉、入生田、風祭、水之尾、井細田、多古及び下曽我地区
▼三月十日（木）板橋、中島、町田、今井、蓮正寺、飯田岡、堀之内、中曽根及上府中地区
▼三月十一日（金）万年、下府中、桜井及び国府津地区
▼三月十二日（土）早川、片浦及び豊川地区
▼三月十三日（日）幸、山王原、網一色、穴部、府川、北の窪、新屋、小台及び酒匂地区

春さきは気象的にも大火災のおきやすいときです。外出なさるときやおやすみ前には、かならず火の元をたしかめて下さい。

火災の電話は……

問合わせ 消防本部	四九一九
消防署	二四五一
足柄分署	四〇二四
川東分署（国府津）	五四〇
報知	一一九

みんなで考えましょう 市政クイズ 第22回

みんなに楽しみながら市の行政をよく知つていただくため、月一回市政クイズを行なうことにいたしております。奮つて応募して下さい。

問題

きたる□月三日から□□郵便局の窓口で□□年金の第一回支払いが□□されます。支払金額は□□四千円、障害□千円、母子四千円であります。

本市における請求手続き□□者は□□二、三四一名で、うち□□の□□者は一、七三五名です。まだ請求中で□□を受領していない方でも、特別な□□のある方以外は、今月□までに□□される見込みです。

□□者は、年金受領に際していま一度□□の□面の「しおり」をお読み下さい。

応募規定

1 賞金は二千円、正解者二名以上のときは等分し六名以上のときは抽せんにより五名に等分する（正解者のないときは次回に加算）
2 問題中□は当用漢字（補正漢字を含む）で記入する。
3 応募用紙は官製ハガキ又はハガキ大用紙
4 応募は一人一通に限る。
5 締切は三月十五日（十五日消印あるものは有効）
6 あて先は市役所庶務課広報文書係
7 解答及び正解者は次号の本紙上に発表する
（注意）応募者は小田原市民に限る◉市の職員とその家族は応募できない

第21回の結果

応募者三七六名のうち正解者は九三名でありましたので、抽せんの結果次の方に賞金四〇〇円をさしあげることになりました。

矢作一八二　鈴木己一
板橋六三二　伊豆浦邦子
久野二、六九七　瀬戸良子
万年三ノ四七三　伊藤清子
曽比二、二九九　新井進

第21回の正しい答

四月の新学期に、市内十九の小学校に入学する一年生二・〇七四名の健康診断や土曜学校が、一月下旬から二月下旬にかけて行なわれます。

健康診断は、就学児にわるいところがあれば治療して、心身共に健康な状態で入学できるようにするのがその目的です。

土曜学校は、土曜日の午後を利用して就学児を学校に集め、校内めぐりをしたり、歌や遊戯を習つたりして早く学校やお友達に慣れるようにするために行なわれるものです。

にぎわつた菓子展

にぎわった小田原梅まつり

恒例の小田原梅まつり行事は、さる二月十二日から二十一日までの七日間にわたり中央公民館や城祉公園遊園地で開催されましたが、「菓子展」をはじめ、「箱根物産展」、「軽音楽と歌謡曲」等の各会場は、いずれも大変なにぎわいでした。

◇菓子展

十二日から十四日まで、中央公民館で菓子展が開催されました。

会場には、約一千四百種類の銘菓が陳列され、連日観覧者の目を楽しませました。

ことしの展示会では、かざり菓子など技巧的な出品物が多く、なかでも目方三五八キロ、高さ三メートルもあるロケツトの「ようかん」やたてよこ約一メートルの「ぼたん」のかざり菓子などに観覧者の人気が集中しました。

なお、特選には次の銘菓が入賞しました。

特選

北条（知事賞、市長賞）風月堂（幸）石川千徳

城見だんご（市長賞、商工会議所会頭賞）松坂屋本店（十字）越川金次郎

ケーキ（市長賞、菓子商組合賞）正栄堂（緑）伊東梅太郎

◇軽音楽と歌謡曲

十四日の日曜日には、城址公園遊園地で、楽団ブルーリボンスによる軽音楽と歌謡曲が行なわれ、こども連や家族連れで大変にぎわいました。

◇箱根物産展

十九日から二十一日まで中央公民館で箱根物産展が開かれました

この展示会には、小田原地方特産のこけし人形、さし物、漆器、玩具、サラダボールなど、約三百三十九種類、一千点の作品が出品され、市内の一般観覧者や東京、静岡等の貿易業者、観光みやげ品業者などでにぎわいました。

ことしはいままでになく製作技術、意匠等にきわだつて新しいものが多く出品されました。特に高級な食卓用品、輸出向きのさし物動きのある玩具等は専門家の注意をひきました。

なお、優秀には次の作品が入賞しました。

優秀（知事賞）
①こけし　背くらべ（国府津）山室愛一郎
②さし物　マジックボックス（新玉）小田三商会
③漆器　盆尺四寸イチヨウ型（新玉）坂間春吉商店
④サラダボール　七枚組二段スワンオードブル（町田）安間政治
⑤玩具　寄木動物（中島）菅沼孝

所得税の確定申告と納税

申告期限は三月十五日

小田原税務署